

ニュージーランド準備銀行は政策金利を据え置き

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置き。金利据え置きは13会合連続。
- オア総裁は20年にかけて政策金利を据え置見通し示す。「利上げも利下げもありうる」とする中立的姿勢を維持。
- 4-6月期の実質GDPは底堅い伸びとなるも、足元では企業・消費者信頼感の悪化から景気の下リスクは残る。
- 米中貿易戦争の激化やRBNZの中立的な金融政策姿勢を受けて、NZドル相場は足元でも軟調な地合いが続く。

RBZは中立的な金融政策姿勢を維持

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は9月27日、大方の市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置く決定を下しました(図1)。政策金利据え置きは13会合連続です。

エイドリアン・オア総裁は声明文において、2019年から2020年にかけて政策金利を現行水準で据え置くとの従来通りの見通しを示しました。今後の政策金利の方向性に関して、オア総裁は利上げも利下げもありうる述べ、中立的な金融政策の姿勢を維持しています。

4-6月期GDPは底堅さを示すも、信頼感は悪化

ニュージーランドの2018年4-6月期の実質GDP成長率は前年比+2.8%と市場予想(前年比+2.5%)を上回る底堅い結果となりました(図1)。4-6月期までの景気は底堅さを示したものの、足元では企業信頼感や消費者信頼感が悪化しつつあり、RBNZは「景気見通しの下方リスクが依然として残っている」との見方を示しています(図2)。

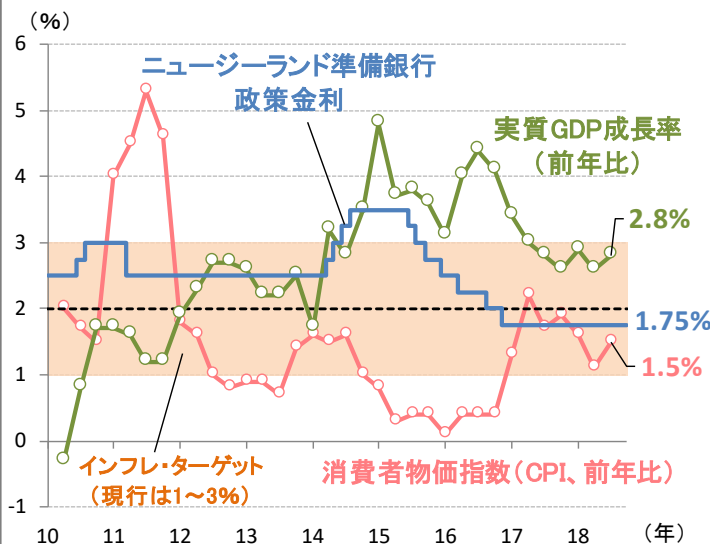
RBNZでは、「政策金利の見通しは来年にかけて経済成長率が持ち直し、インフレ率がターゲットの中心値(2%)に回復することを想定している」と述べており、景気が下振れる場合には利下げが検討される可能性も残されていると考えられます。

NZドル相場は軟調な地合いが続く

足元のNZドル相場は、米中貿易戦争の激化などを受けた為替市場でのリスク回避ムードの強まりや、RBNZの中立的な金融政策姿勢の維持などを受けて、対米ドルおよび対円で軟調な地合いが続いています。

当面はRBNZの金融政策の方向性を左右するニュージーランド景気の動向に加え、米中貿易協議の行方などの外部環境にも為替市場の注目は集まりそうです。

図1:ニュージーランドの政策金利、インフレ率、GDP



(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局
(期間)政策金利:2010年1月5日~2018年9月27日
CPI・GDP:2010年1-3月期~2018年4-6月期

図2:ニュージーランドの企業・消費者信頼感指数



(出所)ANZ、ブルームバーグ
(期間)2006年1月~2018年9月(消費者信頼感指数は8月)